リビングアカデミー

2025 年度活動報告

リーダー　石川章代

2025 年度のリビングアカデミー（LA）での活動について報告する。在校生は以下の通りであった。
学生数　139名　（男性　39名　女性　100名）
1期生　17名　2期生　10名　3期生　10名　4期生　16名　5期生　3名　6期生　6名　6名
7期生17名　8期生21名　9期生15名　新しく加わった　10期生は、24名だった。
（平均年齢74．29歳）

LA 祭については、11月のみんなの日である11月16日を JIYU1123 の開催と合わせて11月23日（祝）に変更して行った。

＜2025年度　みんなの日＞

日付	活動及び講演名	講演者	午後の活動
4/19（土）	始業式		家族ミーティング
5/10（土）	映画　サステナホレスト 森の国の守り人たち～	TBS テレビ報道局社会部記者 川上敬二郎	新入生自己紹介 家族ミーティング
6/14（土）	思想しつつ　生活しつつ 祈りつつ	日本ロゴセラピスト教会会長 勝田　茅生	避難訓練・応急救護 東久留米消防署
7/12（土）	楽しく山を歩きましょう 登山のための基礎知識	自由学園最高学部特任教授 夏井　正明	ニッケルハルパー演奏会　小柏　奈々
9/6（土）	関東大震災と羽仁もと子	作家　編集者　森　まゆみ	家族ミーティング
10/18（土）	ダイヤモンドビジネス 40年を振り返って	LA　7期生　鶴崎　全男	LA 祭　準備
11/23（祭）	LA 祭	LA 祭	LA 祭
12/6（土）	賢明な寛容	順天堂大学名誉教授 樋野　興夫	学園演劇部公演 「レ・ミゼラブル」 鑑賞
1/17（土）	例えば家族はどんなことで悩んでいるの？	自由学園 TLP 主任 松坂　政広	家族ミーティング
2/21（土）	農林水産業と土地利用	東京大学大学院生命科学研究科　教授　藏治　光一郎	LA　説明会
3/28（土）	町の歌に聴くウイーン的精神	一橋大学名誉教授 田辺　秀樹	修業式　・感謝会

＜2025 年度　選択クラス＞

開講したクラスは、21講座だった。

野　鳥	樹　木	野　草	ノールビンドニング	陶　芸	スマホ
ステンドグラス	フランス美術	俳句を楽しむ	木工　カトラリー	体　操	

元気にコーラス	着物リメイク	木工ろくろ	薬膳料理を身近な食材で	気　功	
発酵ごはん	イタリアン	レザークラフト	生活に生きる書道	オカリナ	

希望者が足りずに開講できなかったクラス

スウエーデン刺繍	お花を飾る

講師や準備の都合で開講できなかったクラス

北欧の手仕事	染　色

2025年に新たに発足した　はたらき隊

＜あむあむ LA＞

認知症マフと呼ばれる、毛糸でできたマフを病院や介護施設で使ってもらえるように、毛糸の寄付を募り集まって編んだものを使って頂けるようにするグループ。

大きな病院や介護施設を持つ TMG グループの施設長と繋がり、TMG グループの埼玉志木中央病院と、西東京中央病院に各々マフを贈呈し、使っていただけるようになった。今後も、使って頂ける所を増やせるようにしたいと願っている。



3月30日　埼玉志木中央病院にてマフの贈呈

＜中長期プロジェクト　“ごちゃまぜの学び”への参加＞

学園長が学内に向けて募集した中長期プロジェクトに、学内にもっと LA のことを知ってもらい、学内との交わりを増やせるように石川が参加することとした。

会議では、他部の職員と一緒になったことで、LA の存在を大きく理解してもらえる取り掛かりができたと感じている。その中で、出た“みんなでしゃべろう会”やお餅つきに LA 学生も参加する機会を得た。

しゃべろう会では、ラーニングコモンズで、抹茶を点て、ごちそうするLA学生と中高生が一緒にになって様々な話題を共有できたようだった。

又、年明けに行われた、お餅つき会では、上手に杵をつく、LA学生は頼もしく、又にわでもち米を蒸すところから参加した学生からはとても楽しかったという言葉を聞いた。大根が足りずに急遽、LAの畑の大根を寄付したところ、みずみずしい獲れたて大根に館やの声も貰った。

このような機会をもっと増やしていきたいと思っている。





写真上:「ごちゃまぜの学び」活動の一環でお餅つきに参加。　下:異年齢の生徒たちと交流する。

＜1年のまとめ＞

6月の勝田茅生さんの講演を学部生と共に、又外部で、聞きたい方に開放(無料)にすることが学校で決定され、外部の方には記念講堂の2階で聞いて頂くようにした。外部から100余名の方が聞きにいらっしゃるような講演となった。 準備の段階や当日の時間等いつものみんなの日とは異なり、やや混乱したこともあったが、当日は、多くの方とご一緒にご講演ができ、無事に終えることができた。

LA 祭は、JIYU1123 と同時開催として、初等部体育館をお借りし、床を傷めないために、パイプ椅子の足に養生をする作業を学生で手分けして準備した。緑ヶ丘校舎から初等部体育館への椅子の移動は、階段があり、LA 学生でするには危険なことから、業者に運んでもらうようにして、準備した。

LA 祭は、委員の人たちの準備で、午前はステージ発表、午後は JIYU1123 を見学して、時間に戻って、皆で歌を歌う時間をとり、楽しい時間を共有することができた。

来年の10周年に向けて、記念募金の委員を依頼し、2月に LA 創設10周年記念募金　の趣意書を理事長村山順吉氏、募金委員長の武藤悟氏、リーダーの石川章代名で、休学中の438名に対して郵送して、募金活動を開始した。